

## 和歌山盲学校 令和6年度 第2回学校運営協議会記録

開催日時: 令和6年11月14日(木) 10:00~12:00 和歌山盲学校会議室

出席者: 委員6名、傍聴人(本校職員等)8人

【議題】「授業づくりは学校づくり」「盲学校啓発」「よりよい進路へ向けて」

○校長より今年度の取り組みについて説明

- ・授業づくりの取り組み(単元から考える、授業計画の作成、サポートブック作成、自立活動の視点を活かす、R8年度公開授業計画)について
- ・啓発活動、地域自治会等との連携について
- ・近年の進路状況について

○協議

授業づくりについて

- ・授業で完結しない、将来へ繋がる力はあるかのような力なのか。  
(意見)自ら考える力、ボディイメージ、困りを伝えられる力、コミュニケーション力など。  
(意見)子どもが主体的であること。こういうことをやってみたいと思える工夫が大切。
- ・授業づくりについての今年度のゴールのイメージはどのようなものか。  
(事務局より)単元計画の様式を今年度中に完成させる。授業計画は確認し、必要に応じて改善をしていく。  
(意見)よりよい改善のために外部の方の助言が大切。

進路指導について

- ・学校での進路指導で大切にしていることはどのようなことか。  
(事務局より)挨拶をしっかりとできるようになること、自分の感覚を最大限活用できるようになること、自分の見え方を伝えられるようになること、援助して欲しいことを伝えられるようになることなどが大切と考えている。  
(意見)挨拶がなぜ大切かを伝える事が大事。授業場面では、子どもの発信を大切にしているように感じた。

視覚障害者の進路について

- (意見)自分がやりたいことをできるところがあれば良いと考えている。
- (意見)県内で視覚障害に特化した事業所は非常に少ない。そのため、自分から支援してほしい部分を発信できる力が大切。現在は受け入れる側も合理的配慮の提供が法律で義務づけられている。相談支援事業所も各市町村に設置されているので、必要があればそうやっていくことで支援を受けられるケースもある。
- (意見)生徒や保護者に様々な進路情報が伝わるようにしていきたい。

地域との連携について

- (意見)地域の中で盲学校の役割としては、紀伊団地と災害時に関する避難の協定がある。
- (意見)生徒会の役割を整理していくことで、地域との連携にマッチすることがあるのでは。